

高速道路を活かした地域経済の活性化と雇用の創出部会

1. 砂丘を活用した地域経済の活性化

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
砂丘と遊ぶ	リピーター対策として、サンドボードやパラグライダー、ジオパークのウォークラリー、清掃ハイク等、体験できるものを育てていく。		サンドボードやパラグライダーなど体験メニューとして定着しています。既存事業の継続と、今後は、ジオパークとしての新たな魅力を創造・発信による、リピーターの増加にも努めることとしています。	鳥取砂丘室
	もっとコンサートなどのイベントを持ち込みたい。		民間が主体となるものであり、計画などが立案された場合には、実施に向け、積極的にアドバイスなどを行っていきます。	鳥取砂丘室
	砂丘をあらゆる角度から、広く見せる工夫を。(飛行機、船、オープンバス、周遊コース)		砂丘をあらゆる角度から楽しんでいただくけるよう、周遊コースについては、ガイドツアーなどの関係団体と連携して創設の取り組みを進めています。飛行機、船、オープンバスは、独自の対応は困難と考えています。	鳥取砂丘室
PR戦略	砂丘と温泉、砂丘とカニ、砂丘と のような大まかなセットを、月別に設定		季節を限定しない砂丘との組み合わせ観光メニューとなる「砂の美術館」に取り組んでいます。現在、第3期となる砂の美術館を開館しており、今後も、砂の美術館の継続開催に取り組んでいきます。	鳥取砂丘室
	若者が砂丘に興味を持つ取り組みを、「因幡の祭典」にあわせ、広告代理店などにPRできないか。(例 砂丘を恋のメッカに、ロマンチックな砂丘の夕日、月の砂漠・・・等)		若者を委員とする「砂丘魅力アップ委員会」が新たなイベントの企画など(平成21年秋にもイベント実施)を行っています。	鳥取砂丘室
	県外から除草ボランティアに参加される方に、もっと他の砂丘の楽しみ方を味わっていただけないか。		除草ボランティアに観光客が参加される場合も見られるが、除草をしながら砂丘を楽しんでいただくなど受入れ体制が課題としてあり、今後の検討が必要です。	鳥取砂丘室
	コンセプト、キャッチコピーをつくり、それを軸にして集客に繋げる。		鳥取砂丘を含む山陰海岸の世界ジオパーク認定に向けた取り組みの中で、関係地域と連携しながら、このエリアの集客に取り組んでいます。	鳥取砂丘室

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
地元の対応	受け皿として積極的な地元の対応を。		・観光ガイド組織の育成、支援、メニュー造成に取り組んでいます。 ・観光マイスターの認定事業の実施(観光大学の実施) ・砂丘魅力アップ協議会などでイベントなどを企画、実施しています。	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室
	滞在を狙い吉岡温泉との連携を。		・滞在者の増加に向けた、吉岡温泉まちなみ整備事業の実施しています。また、因幡温泉郷としての市場調査やPRを行っています。 ・砂の美術館と連携した宿泊客誘致に取り組んでいます。	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室
	やる気ある民間企業には、十分な支援を。		企業のニーズに対応できるよう、様々な補助メニューで支援を実施しています。	企業立地・支援課 観光コンベンション推進課
	砂丘に滞在できる(拠点となる)宿泊施設の拡充。		砂丘地区での宿泊施設整備は、市内関係業者等から反対陳情等が出されています。宿泊施設の拡充は、基本的には、民間事業として取り組んでいただくものと考えています。	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室
	サーファー等、若者層が滞在できるような、快適なサービス、宿泊施設の整備。		砂丘地区の民宿の衰退は、観光客のニーズ変化によるものと認識しています。宿泊施設に対する観光ニーズへの対応は、基本的に民間事業者が取り組んでいただくべきものと考えています。	観光コンベンション推進課 鳥取砂丘室

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
その他	周辺環境の美化。(汚い国立公園からの脱却を)		海岸漂着ごみの回収やビーチクリーン活動を実施中。また、砂丘一斉清掃や道路沿いの景観上支障となる樹木の伐採など実施中。さらには、県などと連携して環境パトロールなどを実施しています。	鳥取砂丘室
	砂丘部分とリアス式部分とのルート設定。		鳥取砂丘を含む山陰海岸の世界ジオパーク認定に向け、関係地域と連携しながら、ルート設定に取り組んでいます。	鳥取砂丘室
	らっきょう畑の観光活用。		砂丘魅力アップ協議会でイベントなど企画し、実施しています。	鳥取砂丘室
	県立美術館の砂丘周辺への誘致。			本市の利便性の高い適地に県立美術館を整備していただけるよう、県に対し「検討委員会の早期立ち上げ」を要望しています。
		×	県立美術館を国立公園内に設置する場合は、公園管理計画に盛り込む必要があります。現在の計画に盛り込まれていないため、誘致は困難な状況です。	鳥取砂丘室

2.総合的な産業振興策

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容	担当課
地場産業	県産品・市産品のアピールの場として「道の駅」の活用。		本市に2つある道の駅の神話の里「白うさぎ」と清流茶屋「かわはら」を活用し、鳥取の特産品を展示販売しています。また、鳥取市ふるさと物産館やふるさと市を活用しながら特産品のPR等に力を入れています。	経済戦略課
			河原道の駅においてJAが産直市を出店し、周辺地域の農産物や加工品を販売しています。	農業振興課
	鳥取の強みの分析と集中投資。		平成20年1月に策定した「鳥取市経済活性化戦略」の中でも「鳥取の強み」を踏まえ、5つのアクションプログラムに重点化した地域経済の活性化を示し、各施策に鋭意取り組んでいます。	経済戦略課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
企業誘致・ 工業振興	河原工業団地を「因幡らしさ」を売りにした健康産業の集積地に。(豊かな農林水産資源の活用や研究所進出で雇用も改善)		<ul style="list-style-type: none"> ・河原工業団地(仮称)については、21年度に測量・調査設計を実施するなど、早期整備に向けて事業を進めています。 ・誘致戦略としては、内需型産業の食品関連分野や、新エネルギーの研究開発といった環境関連分野など、今後成長が期待される産業を視野に入れ、取り組んでいます。 ・また、鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取県産業技術センターといった学術研究基盤の充実、豊かな農林水産資源を活用した農商工連携など、本市の特徴を最大に活かした産業集積を検討しています。 	企業立地・支援課
	官民で設置した企業訪問・販路開拓チームによる近畿圏全般への営業の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取商工会議所又は市内商工会が行う、地元企業と関西圏等企業の「販路拡大等創出促進事業」への助成を実施しています。【平成20年度実績：商談件数20件】 ・平成21年度に市内中小企業が自社製品等を展示会、フェア等に出展する経費助成を実施しています。 	企業立地・支援課
農林水産業	特産品で全国発信できる新たな加工食品を開発(支援)		<ul style="list-style-type: none"> ・食品加工産業を育成するため新商品開発等の取り組みを支援する補助制度を創設しています。 ・ふるさと雇用制度を活用し、新商品の開発等を支援する職員を配置しています。 	経済戦略課
			現在、本市における加工品の調査を実施しており、今後ニーズ調査を行った上で商品の絞り込みを行い、市場に発信していきます。	農業振興課
	市の斡旋による市民農園、田畑オーナー制度の充実。		平成19年4月 施設整備型市民農園開設(吉岡地区) NPO法人等が開設する市民農園への協力(くらしのお手伝いよねさと、山王団地自治会、NHK文化センター鳥取支社)	農業振興課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

提案内容		実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
農林水産業	農業を越えた中山間地域対策(限界集落対策)、条件不利地域への支援。		中山間地域等直接支払制度により農地や農業用施設の保全管理に対して支援を実施しています。	農業振興課
	農地をまとめることと、農地を利用する人(担い手)の政策は区別すること。		農業の担い手の育成・確保のための施策を実施しています。	農業振興課
	労働対価の確保策の検討。(地域レベルで持ちこたえられる経済の構築、地産地消の促進)		地産地消の推進による域内経済の活性化を図る取り組みに力を入れています。	経済戦略課
			農産物を産地化し、有利販売による農家所得の確保(安定化)を図っています。	農業振興課
観光・PR戦略	アクセス看板・交通表示などの充実。(鳥取自動車道にイラスト入り観光案内を)		鳥取自動車道の用瀬バスストップに観光案内看板(マップ)を作成を予定しています。	観光コンベンション推進課
	健康的な街(食生活、住環境)を売りとしたPR戦略。		観光パンフレットやホームページでのPRにあたっては、多様な観光ニーズに対応できるよう工夫し、作成しています。 食や体験メニューの造成、連携した観光AGTなどへの営業を実施しています。	観光コンベンション推進課
	観光地駐車場の整備、観光地間のアクセス、「道の駅」巡り、宿泊先と観光地の連携。		観光パンフレットやホームページにおいて観光ルートを提供しています。(テーマによる観光ルートなど) 食や体験メニューの造成、連携した観光AGTなどへの営業を実施しています。	観光コンベンション推進課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

	提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
観光・PR 戦略	明確で長期間使える鳥取の観光コンセプトの確立。		観光白書作成による鳥取市の観光コンセプトの確立に取り組んでいます。(砂像のまちなど)	観光コンベンション推進課
	駅北口の整備(ケヤキを観光バス駐車場、レンタサイクルの設置)		レンタサイクルについては、鳥取市営鳥取駅高架下第2自転車駐車場を実施しています(駐輪場指定管理者と市観光協会との契約による)。	交通対策室
			<ul style="list-style-type: none"> ・駅北口の整備は、平成20年度のパブリックコメントを受け、今年度は鳥取駅北口広場整備検討委員会を設置し、整備検討を行っています。 ・ケヤキ広場の整備は、ケヤキを12本程度間引き、バス乗場への見通し、バリアフリー化などにより観光客などの利便性を向上をめざし、検討しております。 ・また、市営駐輪場を活用を前提に、レンタサイクルステーションを設置しています。 	都市計画課 市街地整備室
観光PR情報ネットの開発 GPS(カーナビ)・携帯電話を活用した総合観光案内の充実。(例:エリア別混雑状況、自動観光地誘導、観光地音声ガイド等)		携帯電話などホームページを活用し、砂丘エリアの道路混雑状況の提供を行っています。(連休期間などに限定)	観光コンベンション推進課	
商業振興	誓文払いの復活。(現代版誓文払いを全商店街で展開し、中心市街地の再生を)		スーパープレミアム商品券の発行や中心市街地交通実証実験等に併せて商店街の販売販促・活性化イベントに取り組んでいただくため、補助制度の充実を図ったところであり、提案の事業等も含め商店街と連携していきます。	経済戦略課
農・商・工 連携の推進	農・商・工の連携による新たなビジネス・新たな雇用の創出支援		商工会議所や経済団体、大学等の学術機関と連携し異業種意見交換会を行っています。平成21年度は、鳥取商工会議所に農商工連携マッチング事業を委託し専任の職員を3名配置しています。	経済戦略課

平成19・20年度市政懇話会提案内容対応状況調査

	提案内容	実施状況	主な取り組みの内容(実績)	担当課
若者世代の 意見の活用	各分野の若手経営者等による、「雇用の場創出」に特化した「20万都市維持青年プロジェクトチーム(仮称)」の発足。		雇用の場の創出などをはじめ、各分野の若手経営者等で構成される鳥取青年会議所、鳥取商工会議所青年部、鳥取県東部中小企業青年中央会にそれぞれ市職員が加入し、日常的に、交流し、意見交換等を行っています。 また、平成20年2月に、東部青年経済団体協議会の5団体と懇親会を開催し、雇用も含めた経済対策について意見交換を行いました。	経済戦略課
	実業高校、大学の学生等のアイデア、プロジェクト研究等の利活用、実用化支援。		産学官の取組みの中で、学生も研究等に参加し、環境システムなどがまちづくりや産業に活用されています。今後も、学生をはじめ若い方の提案、活動を活かすことに視点を置き、まちづくりや産業振興に取り組んでいきます。	経済戦略課